

第4章 教育内容・方法・成果

1) 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針

第4章 教育内容・方法・成果

1) 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針

1. 現状の説明

(1) 授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。

【評価の視点】

○課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識・技能・態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した学位授与方針の適切な設定及び公表

＜1＞ 大学全体

1) 2017(平成29)年3月、文部科学省のガイドラインに則して、3つのポリシーを改訂し、ホームページに公表している。卒業・修了に際し、学位を授与する要件として、学生が身に付けているべき資質・能力の目標を明確にした大学全体の学位授与方針（以下、ディプロマ・ポリシー）を以下のとおり定めている。

《ディプロマ・ポリシー》

本学は、各学部・大学院研究科において、学是「仁」（人在りて我在り、他を思いやり、慈しむ心、これ即ち「仁」と理念「不断前進」（現状に満足せず、常に高い目標を目指して努力し続ける姿勢）に則り、それぞれ学部の求める能力を包含しつつ、より広範囲にわたるものとして人材養成の目的及び教育研究上の目的を設定しております。これらを踏まえて編制された教育課程に基づき、所定の期間に在学した上で、所定の単位を修得し、その他の基準にも合格した者に対し、課程毎に次のとおり学位を授与します。

＜学士課程＞

学士課程においては、学則における各学部規程に定める基準を満たすとともに、次の資質・能力を身に付けた者に対し、卒業資格の認定を行い、学士の学位を授与します。

1. 社会で指導的な役割を果たすために必要な多様な専門知識や論理的な思考力、確かな技能及びそれらの活用能力
2. 人間的成長を目指した幅広い教養に裏付けられた高い倫理観と市民としての社会的責任感
3. 国際社会において活躍するために必要な外国語運用能力に基づく異文化理解能力及び的確なコミュニケーション能力
4. 社会や環境の変化に際し、自主的・積極的に対応できる能力

＜大学院課程＞

大学院においては、課程毎に定める基準を満たし、次の資質・能力を身に付けるとともに、学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対し、その課程に応じ所定の学位を授与します。

[修士課程・博士前期課程]

1. 幅広い学識と高度な専門知識・技能を備え、専攻分野の研究を遂行する能力や高度の専門性をもつ職業等に必要能力
2. 物事の本質を見極める判断力、強い責任感と高い倫理観
3. 国際的視野を持ち、研究成果を国際的に発信できる能力や高度の専門性をもつ職業に活かす能力

[博士課程・博士後期課程]

1. 豊かで深い学識と高度な専門知識・技能を備え、専攻分野において自立して研究活動を行う能力や高度の専門性をもつ職業に必要な卓越した能力
2. 物事の本質を見極める判断力、真理の探究に向かう真摯な姿勢、独創的な発想、強い責任感と高い倫理観
3. 国際的視野を持ち、研究成果を国際的に発信し当該分野の研究の発展に貢献できる能力や高度の専門性をもつ職業等に活かし指導的役割を果たす能力

2) 各学部・大学院研究科においては、大学全体のディプロマ・ポリシーとの整合をはかり、そ

第4章 教育内容・方法・成果

1) 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針

それぞれディプロマ・ポリシーを定め、ホームページや教育要項（シラバス）・履修要項等に掲載している。ディプロマ・ポリシーは、教育に関する内部質保証のための PDCA サイクルの起点として機能するように策定している。

（資料4-1-1 順天堂ホームページ 「情報公開（基本情報）」 「修学上の情報」 「ディプロマ・ポリシー」）

3) 本学において授与する学位、論文審査及び試験の方法その他学位に関する必要な事項は「順天堂大学学位規程」に定めている。

（資料4-1-2 順天堂大学学位規程）

(2) 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。

【評価の視点】

○下記内容を備えた教育課程の編成・実施方針の設定及び公表

- ・教育課程の体系、教育内容
- ・教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等

○教育課程の編成・実施方針と学位授与方針との適切な連関性

〈1〉 大学全体

1) 2017(平成29)年3月、文部科学省のガイドラインに則して、3つのポリシーを改訂し、ホームページに公表している。ディプロマ・ポリシーに示した資質・能力を学生が効果的に身に付けられるように、どのようにカリキュラムを編成・実施し、学修成果をどのように評価するのかを明確にした大学全体の教育課程の編成・実施方針（以下、カリキュラム・ポリシー）を以下のとおり定めている。

《カリキュラム・ポリシー》

学是「仁」と理念「不断前進」の精神に則り、教員と学生間の距離が近いという伝統を背景にきめ細かな指導を行い、人間的成長を促す教育を実施するという教育方針に沿って、ディプロマ・ポリシーに示す資質・能力を身に付けるために必要な教育課程を編成・実施するとともに学修成果を適切に評価します。

〈学士課程〉

学士課程においては、人間的成長を促し着実に学修成果を積み重ねられるように、以下のとおり教育課程を編成・実施します。学修成果の評価は、授業における小テスト・定期試験・レポート、実習評価等を含め、予め明示した評価基準に基づき、総合的評価を行います。その結果の活用を通じて、教育方法の改善につなげます。

1. 高等学校教育からの連続性に留意し、多様で調和のとれた教養教育（リベラルアーツ教育）と専門教育を有機的に関連させた体系的なカリキュラムを提供します。
2. 専門知識や論理的な思考力及び確かな技能を身に付けられるように、各学部学科の特色を生かして、講義・演習・実習等を適切に組み合わせた授業を展開します。加えて、大学院で行われる高度な専門教育と学術研究へとつながるカリキュラムを提供します。
3. 外国語運用能力の向上を図るとともに、異文化理解能力及び外国語による的確なコミュニケーション能力を身に付けるため、留学・海外研修等を支援します。
4. 教育方法の開発と教育システムの整備を推進し、授業内外において学生の主体的・能動的学習を促進します。

〈大学院課程〉

大学院においては、高度な研究能力・実務能力を身に付けられるよう、課程毎に以下のとおり教

第4章 教育内容・方法・成果

1) 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針

育課程を編成・実施します。

[修士課程・博士前期課程]

1. 学際的な内容を含む多様な専門科目を提供するとともに論文作成等に係る研究指導体制を整備し、研究遂行能力の向上と専攻分野の専門知識・技能の獲得を促します。
2. 研究者や高度専門職業人に求められる強い責任感と高い倫理観を育む機会を提供します。
3. 研究計画書に基づいた指導を行ったうえ、予め明示した評価基準に基づき、厳格な評価を行い、修士論文又は特定の課題に基づいて研究成果の審査及び試験を適切に実施します。それらの活用を通じて、教育方法の改善につなげます。

[博士課程・博士後期課程]

1. 各専攻分野における先進的かつ国際的に評価される研究成果の獲得を目指した論文作成等に係る研究指導体制を整備し、豊かで深い学識と専攻分野の高度な専門知識・技能、自立して独創的な研究を遂行できる能力の獲得を促します。
2. 研究者や高度専門職業人に求められる強い責任感やリーダーシップ、高い倫理観を育む機会及び国内外で最先端の研究成果に学ぶ場を提供します。
3. 研究計画書に基づいた指導を行ったうえ、予め明示した評価基準に基づき、厳格な評価を行い、博士論文に基づいて研究成果の審査及び試験を適切に実施します。それらの活用を通じて、教育方法の改善につなげます。

- 2) 各学部・大学院研究科においては、大学全体のカリキュラム・ポリシーとの整合をはかり、それぞれカリキュラム・ポリシーを定め、ホームページや教育要項（シラバス）・履修要項等に掲載している。カリキュラム・ポリシーには、ディプロマ・ポリシーに示した資質・能力を達成するための具体的な教育課程の編成・実施、学修成果の評価の在り方等を示しており、その一体性・整合性に配慮して策定している。

(資料4-1-3 順天堂ホームページ 「情報公開（基本情報）」 「修学上の情報」 「カリキュラム・ポリシー」)

- 3) 科目区分、必修・選択の別、単位数等については、学則・大学院学則・各研究科規程で規定し、シラバスに明示している。

(資料4-1-4 医学部教育要項)

(資料4-1-5 スポーツ健康科学部シラバス)

(資料4-1-6 医療看護学部教育要項)

(資料4-1-7 医療看護学部履修要項)

(資料4-1-8 保健看護学部教育要項)

(資料4-1-9 国際教養学部教育要項)

(資料4-1-10 大学院医学研究科修士課程シラバス)

(資料4-1-11 大学院医学研究科博士課程シラバス)

(資料4-1-12 大学院スポーツ健康科学研究科シラバス)

(資料4-1-13 大学院医療看護学研究科教育要項)

第4章 教育内容・方法・成果

1) 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針

2. 点検・評価

[基準4]

大学は、自ら掲げる理念・目的を実現するために、学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を定め、公表しなければならない。また、教育課程の編成・実施方針に則して、十分な教育上の成果を上げるための教育内容を備えた体系的な教育課程を編成するとともに、効果的な教育を行うための様々な措置を講じ、学位授与を適切に行わなければならない。さらに、学位授与方針に示した学習成果の修得状況を把握し評価しなければならない。

●基準4-1の充足状況

本学は学是「仁」、理念「不断前進」を掲げて、各学部・大学院研究科において、人材養成目的・教育目標を定めている。これらに基づき、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを定め、大学ホームページにて公表している。各ポリシーの内容は、大学協議会、教授会、研究科委員会をはじめ、各種委員会でも定期的に検証が行われている。以上のことから、基準を満たしている。

①効果があがっている事項

<1> 大学全体

- 1) 文部科学省の『「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施方針」(カリキュラム・ポリシー)及び「入学者受入れの方針」(アドミッションポリシー)の策定及び運用に関するガイドライン(2016(平成28)年3月末公表)』に示された留意すべき事項に対応すべく、大学全体・学部・研究科単位で3つのポリシーについて見直しを行い、大学ホームページに公表した(2017(平成29)年3月)。

3. 将来に向けた発展方策

①効果があがっている事項

<1> 大学全体

- 1) 3つのポリシーは、教育内容の充実とともに改訂される必要があると考えられることから、それぞれの設定単位で、教育内容・成果の定期的な検証を行い、必要に応じて更新していく。

第4章 教育内容・方法・成果

1) 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針

4. 根拠資料

根拠資料No.	各部署の資料整理No.	資料名称
資料4-1-1	総務4-1-1	順天堂ホームページ 「情報公開（基本情報）」 「修学上の情報」 「ディプロマ・ポリシー」 http://www.juntendo.ac.jp/about/information/study.html
資料4-1-2	総務4-1-2	順天堂大学学位規程
資料4-1-3	総務4-1-3	順天堂ホームページ 「情報公開（基本情報）」 「修学上の情報」 「カリキュラム・ポリシー」 http://www.juntendo.ac.jp/about/information/study.html
資料4-1-4	総務4-1-4	医学部教育要項
資料4-1-5	総務4-1-5	スポーツ健康科学部シラバス http://www.juntendo.ac.jp/hss/department/syllabus/index.html
資料4-1-6	総務4-1-6	医療看護学部教育要項
資料4-1-7	総務4-1-7	医療看護学部履修要項
資料4-1-8	総務4-1-8	保健看護学部教育要項
資料4-1-9	総務4-1-9	国際教養学部教育要項
資料4-1-10	総務4-1-10	大学院医学研究科修士課程シラバス
資料4-1-11	総務4-1-11	大学院医学研究科博士課程シラバス
資料4-1-12	総務4-1-12	大学院スポーツ健康科学研究科シラバス http://www.juntendo.ac.jp/hss/postgrad/syllabus/index.html http://www.juntendo.ac.jp/hss/postgrad/syllabus/index_2.html
資料4-1-13	総務4-1-13	大学院医療看護学研究科教育要項